

生活単元学習指導案

1 日 時 令和元年10月11日(金) 第2校時(9:50~10:35)

2 学 年 特別支援学級(肢体不自由) 第5学年 1名

3 単元名 高野町へようこそ!(生活単元学習)

4 単元設定の理由

○児童観

～省 略～

<児童の実態>

～省 略～

○単元観

本単元は、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領の知的障害者である児童に対する教育を行う特別支援学校における小学部の生活科の内容の「2段階 オ 人との関わり (ア) 身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとする。」国語科の内容「1段階 A聞くこと・話すこと イ 身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。」「1段階 A聞くこと・話すこと ウ 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。」算数科の内容「2段階 A数と計算 ア 10までの数の概念や表し方について分かり、数についての感覚をもつとともに、ものの数との関係に関心をもって関わることについて技能を身に付けるようにする。」を受けて設定した単元である。

児童はこれまで、生活単元学習で、買い物学習を通して、買い物で使う言葉ややり取りを学習してきた。また、総合的な学習の時間に、地域の特産物である大根とりんごを題材に同級生とともに学習してきた。4年生の時に、大根の栽培や道の駅たかのでの販売活動を経験している。5年生では、摘花作業や玉回しなど、実際にりんご農園を訪れ活動をしている。活動の中で、関わる方々に挨拶をしたり、感謝の気持ちを伝えたりすることができた。

本単元は、インタビューや高野町の紹介をすることを通して、コミュニケーションの際に大切な相手意識や対応の仕方など、体験的に理解することができると考え設定した。また、高野町に関わる題材を扱うことで児童が暮らしている高野町への愛着を深めることができるようにしたい。

○指導観

<p>コミュニケーションの力を高めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童がいろいろな人と関わり、コミュニケーションをとることができるよう、人と交流する活動を設定する。 ・返事や挨拶をしたりお礼を言ったりすること、相手の話を最後まで聞くこと、問いかけや話しかけに合った返事をする、相手の方を見て話すこと、相手に聞こえる声で話すことなど、相手意識をもって楽しくコミュニケーションがとれるよう、声かけを行う。 ・返事や挨拶のよさを感じたり、自然のものに優しくしたりするなどの道徳的な価値を育てるための声かけをする。
<p>教材・教具の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードを活用し、次にする活動と終わった活動を見分けることができるようにする。 ・昨年度、総合的な学習の時間に使った教具等を用いて、学習への意欲を高める。 ・はてなボックスを使い、触感を生かし、想像力を働かせて学習することができるようにする。 ・具体物や写真など視覚的に分かりやすい教具を用いて、高野町の名産品を紹介しようとする意欲を高める。
<p>個に応じた支援の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間を中心に他教科等との関連を意識して指導する。 ・インタビューや挨拶など進んでできるように練習させたり、声かけをしたりする。 ・言葉が出にくい場合には、頭文字を伝え、言葉を引き出すようにする。 ・活動など児童自ら行うことができるよう、練習をして流れを押さえておく。

5 大会主題〔ふるさとに夢や誇りをもって、未来の創り手となる子どもの育成～へき地・複式・小規模校の特性を生かした学校・学級経営と学習指導の深化・充実をめざして～〕との関連

高野小学校では、地域の特産物であるトマト、大根、りんごなどを生かした体験活動が盛んである。また、体験活動を通じて地域の方々とのコミュニケーションをとることができる。これらの体験活動を生かして、相互のコミュニケーションを図りながら、高野町への愛着を深めていく。

6 単元の目標

- 高野町への愛着を深めることができる。 【関心・意欲・態度】
- 気持ちのよい挨拶をしたり、その場に合った言葉遣いで会話したりをすることができる。 【思考・判断・表現】
- 高野町にあるものに触れ、親しみをもつことができる。 【生活に関する知識・技能】

7 単元の評価基準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	生活に関する知識・技能
意欲的に活動に取り組み、高野町やそこでとれる特産物などに関心をもっている。	相手意識をもって表情や動作、言葉で楽しくコミュニケーションをとっている。	インタビューや町探検などを通して、高野の名産などに触れ、親しんでいる。

8 単元計画と評価 (13/14) 「* : 国語科・算数科・生活科」に関する内容

次	時	学習内容	評価	
			評価規準	評価方法
一 探検の準備をしよう	1 ・ 2	<u>課題の設定</u> 高野のいいところって何だろう？ *高野町のよさを見つける方法や計画を選び、活動への意欲を高める。 (インタビュー、絵や写真、町探検等)	<ul style="list-style-type: none"> ・どうやって見付けていくか選び、意欲をもつことができる。 	行動観察 発言
	3 ・ 4 ・ 5 ・ 6	<u>課題の解決①</u> <u>先生たちにインタビューしてみよう</u> *高野小学校には何人の先生がいるのか数える。 *職員に高野町のすきなもの、すきなスポットについてインタビューする。	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な数を数えることができる。 ・その場に合った言葉遣いでインタビューをすることができる。 	行動観察 発言
二 高野町のよいところを見つけよう	7 ・ 8 ・ 9	<u>課題の解決②</u> <u>高野町のよさを見つけよう</u> *町探検に出て、インタビューで聞いたおすすめスポットをまわる。 *町探検で出会う人たちに挨拶したり、会話をしたりする。 *自分のお気に入りを決める。 *まわった場所を数えて振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちのよい挨拶をしたり、その場に合った言葉遣いで会話したりをすることができる。 ・簡単な数を数えることができる。 	行動観察 発言 ワークシート
三 高野町のよさを伝えよう	10 ・ 11 ・ 12 ・ ⑬	<u>まとめ・表現</u> <u>高野町のよさを伝えよう</u> *伝えたい高野町のよさをまとめる。 *初めて会う人への挨拶や紹介の仕方を知り、練習する。 *初めて会う人たちへ高野町のよさを伝える。 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちのよい挨拶や自己紹介をしたり、その場に合った言葉遣いで会話をしたりをすることができる。 ・高野町の特産物である大根やりんごを紹介することができる。 	行動観察 発言
四 振り返ろう	14	<u>振り返り</u> *高野町のよさを伝えることができたか振り返る。 *次はだれに伝えたいか考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめたことを誰に伝えたいか思いをもつことができる。 <u>課題の設定</u>	行動観察 発言

9 研究主題〔主体的・対話的に学びを深める児童生徒の育成～道徳科における児童の思考を促す発問の工夫を通して～〕との関連

発問	発問の意図
自分で高野のりんごを紹介してみましょう。	りんごの紹介の前に、大根を紹介する活動を担任の補助を受けながら行う。この発問では、大根の紹介をする活動を想起しながら、自分でりんごを紹介したり、お客さんとの相互のコミュニケーションを図ったりすることができるようにしたい。また、自分でできたときの達成感を味わわせたい。 また、それまでの活動で、買い物学習の流れや紹介するときのキーワードを押さえることができるようにする。

10 準備物

写真, ホワイトボード, 磁石, はてなボックス, 大根・りんご (実物), お金の模型

11 本時の目標

- ・高野町の特産物である大根やりんごを紹介することができる。
- ・気持ちのよい挨拶や自己紹介をしたり, その場に合った言葉遣いで会話をしたりすることができる。

12 学習展開

	学習活動	主な発問と児童の心の動き (主な発問○) 予想される児童の反応 (・) 支援(★)	指導上の留意事項と評価 (留意事項◇) 評価(・) (評価方法)
導入	1 挨拶をして学習に向かう体勢をつくる。 2 本時のめあてをつかむ。	○ よい姿勢をします。号令をお願いします。 ★ よい姿勢をするために, 写真を見せたり, 教師が実際に手本を見せたりする。 ○ 高野町に来てくださった先生方に挨拶をしましょう。 ・ 「おはようございます。よろしくお願いします。」 ○ 自己紹介をしましょう。 ・ 「こんにちは。僕の名前は～です。高野によろこそ。」 ★ 言葉が出にくい場合は, 「こ」など頭文字を言って, 言葉を引き出す。 ○ 上手に挨拶はすることができましたね。花丸をつけましょう。どうぞ。 ・ ありがとう。 ★ ものをどうぞと手渡された時には, 必ずお礼を言わせる。 ○ これは何でしょう。 ★ 間違ってしまった場合は, 「ヒントください。」と言わせ, 生活経験と結び付けたヒントを与える。	◇ 事前に初めて会う人にはどのようなやりとりをするのがよいか学習しておく。 ・ 気持ちのよい挨拶や自己紹介をしたり, その場に合った言葉遣いで会話をしたりすることができる。 (発言・行動観察) ◇ ホワイトボードを活用して, 次にする活動と終わった活動を見分けることができるようにする。 ◇ はてなボックスの中に実物を入れておき, 触感などの感覚を養うことができるようにする。 ◇ 色や大きさ等の特徴について着目できるようにする。

		<p>○ 今日は大根とりんごを使って勉強していきましょう。</p>	<p>ヒントを与える。</p> <p>◇ 総合的な学習の時間と関連付け、使っていた道具を使い、活動を振り返ることができるようにする。</p>
展 開	3 大根とりんごについて紹介する。	<p>○ 高野の大根やりんごを触ったり、見たりして気付いたことはありますか。</p> <p>★ 触感や大きさ、色はどうか問いかける。</p> <p>○ 大根とりんごを食べてみましょう</p> <p>★ 大根とりんごの実物を触ってみた感想や食べてみた感想をキーワードにして残しておく。</p> <p>○ 高野の大根を紹介しましょう。</p> <p>○ 高野のりんごを紹介しましょう。</p> <p>★ キーワードを示し、紹介することができるようにする。</p>	<p>◇ キーワードを押さえ、大根について紹介することができるようにする。</p>
	4 買い物ごっこをする。	<p>○ 大根とりんごを売ってみましょう。</p> <p>★ 買い物でのやり取りの手本を見せる。</p> <p>★ 総合的な学習の時間での学習の様子を振り返ることができるような写真を提示する。</p> <p>★ 買い物学習をする中で、売り手として、キーワードを意識しながら高野の大根とりんごを紹介する。</p> <p>★ 値段は買い物学習でよく使う10円とする。</p>	<p>◇ 「いらっしやいませ。」「〇〇円です。」「ありがとう。」など、買い物学習で使う言葉や表現を押さえておく。</p> <p>◇ 大根やりんごのよさを伝えたり、お客さんとのコミュニケーションを図ったりすることができるようにし、高野への愛着を深めることができるようにする。</p>
	5 大根とりんごについてインタビューをする。	<p>○ 来ていただいた人に高野の大根やりんごが好きかどうかインタビューをしてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高野の大根は好きですか。 ・ 高野のりんごは好きですか。 	<p>◇ インタビューの仕方は事前に学習しておく。</p> <p>・ 高野町の特産物である大根やりんごを紹介することができる。 (発言・行動観察)</p>
振 返 り	5 本時の学習を振り返る。	<p>○ 高野町の大根やりんごを紹介することができましたか。</p> <p>○ 高野の大根やりんごは好きですか。</p>	<p>◇ 磁石を使って今日の学習を3段階で振り返る。</p>

13 教室の配置図

